

28P2-am003

頭皮健常化への取り組み－有機酸配合シャンプーの抗フケ効果の検証 2－

○寺崎 博幸¹, 鈴木 綾¹, 大隅 信三¹, 高木 豊², 高德 博子² (¹花王ヘアケア研,
²花王生物科学研)

<目的>

これまでに我々は、フケ症状の日本人に対してリンゴ酸がふけ改善効果を有することを見いだしている。そこで今回、コーカシアンに対しても同様の効果が認められるかについて確認を行った。

<方法>

試験は、米国ニュージャージー州にあるコントラクトラボ (TKL Research, Inc.) に依頼して実施した。まず皮膚科医師の目視観察によりフケ症状が認められる被験者 (洗髪頻度が週5回以上の白人の20-40代の男女) に、1ヶ月間プラセボシャンプーを使用させコントロール期間とした後、試験対象となるシャンプーを1ヶ月以上使用させ、試験対象シャンプー使用前後のフケ症状の改善度を、皮膚科医師がダブルブラインド法による前後の頭皮写真比較にて判定した。

<結果と考察>

日本人と同様にリンゴ酸を配合し pH3.7 としたシャンプーに高い抗フケ効果が認められた。このシャンプーはプラセボシャンプーに比べ、有意にフケを改善し、その効果はポジティブコントロールであるジंकピリチオン配合シャンプーと同様であった。更に、本人の意識においても改善を認知していることも同時に確認できた。